

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



在宅医療  
在宅医療体制の構築に向けて  
多職種 300 人が集まる



25グループに分かれての対抗戦やロールプレイなどで会場は大いに盛り上がりました

**住**み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりを推進する「西諸地域在宅医療推進研修会」が西諸医師会(高崎直哉会長)と小林保健所(和田陽市所長)の共催で開かれました。宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の吉村学教授が講師として登壇。医師20人を含む医療職や介護職、消防・行政・市民など300人以上の参加者が、グループワークや意見交換を通して相互理解を深めました。



中心市街地活性化  
交流人口をいかに増やせるか  
シンポジウムを開催

**中**心市街地活性化(=以下、中活)シンポジウムが、2月16日、文化会館でありました。約200人が来場し、中央大学細野助博教授や観光庁観光地域振興部長加藤庸之さんなどが講演。加藤さんは、全国の先進事例を上げながら「人口減少が進む中、観光や中活でいかに交流人口を増やせるかが重要」と話していました。その後、パネルディスカッションでは、多くの視点から中活への理解を深めました。



小林秀峰高校生やまちづくり株式会社株崎庄二社長、こばやしマンの小川紘末さんも登壇

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林地区

安心・安全なまちにっこばを目指します

**西**小林地区の6つの自主防災組織の連携を図るまちづくり協議会安全・防災部会が中心となり、阪神淡路大震災の起きた1月17日に「にっこば防災訓練研修大会」を開催しました。西小林小学校を会場として、事例発表、防災に

関する講演会、炊きだし訓練、自衛隊車両や消防車両の展示、さらに建物火災の中を体験するスモーク体験など盛りだくさんの内容で行いました。非常に寒い日でしたが、地域住民約500人が参加し防災意識を高めることができました。



左)炊き出し訓練の様子  
右)噴火災害についての基調講演



にっこばまちづくり協議会  
安全・防災部会  
会長 倉田三郎  
地元消防団や地域住民など多くの人の協力があって大成功となりました!

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



福祉  
地域の福祉向上を目指して  
こばやし福祉推進大会を開催

こばやし福祉推進大会が、2月5日、文化会館でありました。福祉功労者の表彰と、金婚夫婦74組、市老人クラブ連合会会員の米寿者104人を祝いました。【受賞した個人・団体(敬称略)】小林市長表彰=水間節子、市社会福祉協議会 会長表彰=永田町しあわせサロン、堂屋敷いきいきサロン、大笹いきいきサロン、老人クラブ連合会 会長表彰=上野清治、松元妙子、圖師兼次、田畑輝子、道添ヨシエ、西道紀一、二原正男、中竹義人、温水ミエ、佐藤辰次



左)小林市長表彰を受けた水間さん 右)金婚者代表謝辞を述べた倉田富夫、玲子夫妻



道路  
小林市と高原町をつなぐ  
帯刀川原橋が開通



新しく完成した帯刀川原橋の渡り初めをする出席者。橋は全長41m、幅7mで片側1車線です

**市**道西ノ原・帯刀川原線の帯刀川原橋が完成し、1月23日、開通式が行われました。旧橋は、昭和49年に建設されたものの老朽化が進み大雨時には通行止めになっていました。市と高原町をつなぐ橋で交通量も多いため、市は平成24年度から架け替え工事に着工。式には市、高原町の職員、工事関係者や地域住民など約60人が出席し、神事やテープカット、渡り初めなどを行い完成を祝いました。

協働により「九州一安心安全なまち」を目指して



防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問：危機管理課 Tel.23-1175)



QRコード